

島原ラグビースクール女子中学生全員トライの大活躍！！

4月10日(日)に、福岡県宗像市にて、第1回女子ラグビー7人制九州大会が開催された。長崎県からは、島原ラグビースクール(島原RS)より中学生3名・小学生6名と、長崎市の高校生1名を合わせた10名で代表選手として参加した。

九州各県から50名程の女子ラグビー選手が集まり、講習会と親睦試合が行われた。

講習会では、7人制ラグビーの特徴に沿った基本的スキルの練習が繰り返行われた。講師は、福岡に本拠地を持つコカ・コーラウエストレッドスパークスの築城選手(ラグビー7人制日本代表キャプテン)と淵上コーチ(元ラグビー日本代表・現西南学院大学ヘッドコーチ)という豪華な顔ぶれで、さすがの代表選手も緊張の面持ちで講習を受けていた。

その後、4チームに分かれて記念すべき第1回女子ラグビー7人制の親睦試合が始まった。即席チームということで、コミュニケーション不足が不安視されたが、島原女子中学生の3名の活躍で、周囲にいたプロの選手や、男子大学生も歓声をあげる程のプレーを見せることができた。

FWでありながら、先を読んだ的確なポジショニングで2トライをした森あや(二中二年)、味方の横にフォローし積極的に声を出しラストパスを受けトライした山本千乃(二中二年)、常に声を出して味方を鼓舞し、攻守にわたってチームの要として次元の違う動きから決勝トライを決めた沖野真妃(二中二年・女子ラグビー九州代表)。

この3名は、応援に来ていた保護者と島原RSの指導者を感動させ、練習台として一緒に頑張った小学生には大きな夢と目標を与えてくれた。

初の7人制大会に挑んだ島原RSの女子中学生3名は、全員がトライをするという大活躍で、九州にその存在感を示すことができた。